平成 28 年度

教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価報告書

平成 29 年 8 月 真 庭 市 教 育 委 員 会

目 次

	. はじめに
	(1)趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(2)点検・評価の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(3)点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2	. 教育委員会の活動状況
	(1)教育委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・2
	(2)教育委員会の議決案件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(3)教育委員会会議以外の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	. 教育委員会における事務の点検・評価
	(1)真庭市教育振興基本計画体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(2)平成 28 年度重点施策の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	. 学識経験者による意見
	宮川幸男(真庭地域自立支援協議会 会長)・・・・・・・・・・・・19
	山田泰彦(真庭市立勝山中学校 前校長)・・・・・・・・・・・21
5	. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・23
	平成 28 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の評価結果一覧表

1. はじめに

(1)趣旨

真庭市教育委員会は、学校教育、社会教育、家庭教育の連携により生涯学習社会の充実に 努め、豊かな人間性と郷土に根ざした文化を育む『杜市』づくりを目指した教育を推進しています。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、本市教育委員会が実施した平成 28 年度事業のうち、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

今回の点検・評価の結果について、議会に提出するとともに、市民の皆さんに公表することにより、 さまざまなご意見をいただき、次年度以降の教育行政の施策や事業に反映させ、今後の事務改善 に活かすよう努めてまいりたいと考えていますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2)点検・評価の対象

平成 28 年度 真庭市教育委員会の活動状況

平成 28 年度 教育行政重点施策主要事業の実施状況

(3)点検・評価の方法

点検評価は、主要事業の取組状況を明らかにするとともに、その成果と課題を分析し、今後の施 策等に反映させ、継続的に事業の改善を図ってまいります。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々のご 意見、ご助言をいただきました。ご意見をいただいた方々のお名前は、次のとおりです。

氏 名	所属等
宮川幸男	真庭地域自立支援協議会 会長
山田泰彦	真庭市立勝山中学校 前校長

2. 教育委員会の活動状況

(1)教育委員会の開催状況

開催日	議案	協議案	報告	その他	計
平成28年 4月21日	0	3	4	0	7
平成28年 5月12日	0	1	2	0	3
平成28年 6月 9日	1	1	1	0	3
平成28年 7月21日	0	1	6	0	7
平成28年 8月18日	3	0	2	0	5
平成28年 9月29日	0	0	5	0	5
平成28年10月27日	1	0	3	0	4
平成28年11月10日	0	0	3	1	4
平成28年12月15日	0	2	1	1	4
平成29年 1月19日	0	0	7	1	8
平成29年 2月 9日	4	1	9	0	1 4
平成29年 3月 2日	8	0	9	0	1 7
平成29年 3月23日	3	0	4	0	7
計	2 0	9	5 6	3	8 8

(2)教育委員会の議決案件

<u>` '</u>	
6月	真庭市教育振興基本計画策定委員会設置規程の制定について
	平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書に
8月	ついて
0月	真庭市教育委員会公印規則の一部改正について
	北房統合小学校(仮称)の名称の決定について
10月	真庭市立図書館資料収集方針(案)について
	真庭市立北房小学校(仮称)の開校に伴う制服等の補助金交付要項の制定に
	ついて
2 ⊟	真庭市立小・中学校教職員の「教職員の育成・評価システム」に係る苦情相談及び
2月	苦情処理に関する要綱の一部改正について
	評価者会議設置要綱の一部改正について
	真庭市学校教育センター研修事業規程の一部改正について

真庭市教育委員会事務局処務規則及び真庭市教育委員会の権限に属する事務
の補助執行に関する規則の一部改正について
真庭市教育委員会補助金等交付規則の一部改正について
真庭市学校給食共同調理場管理規則の一部改正について
真庭市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
真庭市教育委員会臨時職員就業規程の一部改正について
真庭市体育文化振興補助金交付規程の一部改正について
真庭市ヘルメット購入補助金交付規程の一部改正について
県費教職員の進退の内申について
第2次真庭市教育振興基本計画の策定について
真庭市教育委員会補助金等交付規則の一部改正について
真庭市学校支援組織活動事業補助金交付規程の制定について

(3)教育委員会会議以外の活動状況

(総会・研修会)

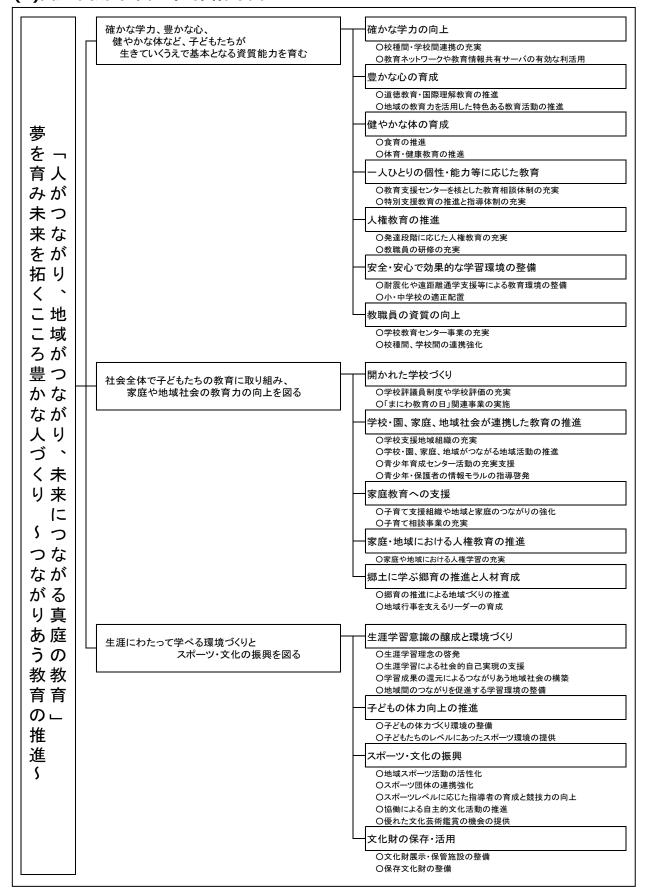
6月	美作地区市町村教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会
7 🖯	真庭市総合教育会議
7月 	岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会
11 🗆	岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会
11月	美作地区市町村教育委員会連絡協議会教育委員秋季研修会

(学校訪問)

10月~	全小中学校		
11月	主小中子权		

3. 教育委員会における事務の点検・評価

(1)真庭市教育振興基本計画体系図



(2) 平成 28 年度重点施策の点検・評価

確かな学力、豊かな心、健やかな体など、子どもたちが生きていくうえで 基本となる資質能力を育む

1. 確かな学力の向上

①校種間・学校間連携の充実

	メ间圧拐り九天			
主要事業名	全国学力·学習状況調査	į	担当課	学校教育課
	·実施学年:小学校6年、中学校3年			
事業概要	・各学校の授業改善プランの見直しと授業改善の推進を図るため、各校において問題冊子等を活用			
	する。			
	・義務教育水準の維持向上という観点から、課題	夏を明	月確にして	:各校での手立てを示す改善プ
	ランの作成と具現化を図った。また、全校に配布し	た問	月題冊子?	を各校で検討し、課題に沿って
 具体的な	授業での活用を進めた。			
取組状況	·学校訪問·校長会·学力向上担当者研修会·	教務	8主任研(修会等を通して、改めて「教材
4X NO 1/\ // \ // \	研究」・「課題対応」・「生活づくり」・「点検・評価	Jの 4	4つの徹原	まを確認した。
	・学力向上担当者研修会では、課題把握と授業	美 改善	善について	協議し、PDCAサイクルの
	検証をした。また、教育センター教科部会において	も改	(善点を記	む合った。
<u>=</u> 17 (#5	A 十分達成できた B 概ね達成できた	D		
評価	C やや不十分である D 不十分である	В		
	・平成28年度調査結果は、小学校で国語・第	数の	A問題	で、全国を上回り、基礎基本の
成果と課題	定着が見られる。しかし、依然として中学校では、	特に	数学で改	z善が遅れている。
	・ICT活用による指導の平準化が学校間較差	の縮	ないに見ら	られる。
主要事業名	岡山県学力・学習状況調査	į	担当課	学校教育課
	·実施学年:中学校1年			
事業概要	・各校の学習指導の成果と課題を検証・改善する。			
	・調査結果を踏まえ、小・中学校が連携した授業改	善を打	推進する。	
	・実態の把握及び学習成果の点検という観点から、調査結果をもとに各校の取組検証と課題			
日体的わ	把握、課題に基づく改善プランの実践を図った。			
具体的な	・教頭研修会・教務主任研修会等で各校の取組について、中学校区ごとの情報交換を行			
取組状況	い、小中の課題について共有した。			
	・良問としての過去問題等の活用推進及び繰り返しによる定着推進を図った。			
=U /==	A 十分達成できた B 概ね達成できた	D		
評価	C やや不十分である D 不十分である	В		
	・改善の方向にあり、全教科で岡山県を上回った。			
成果と課題	・授業改善指標では肯定群が多いが、子どもの主	体的	的な学びと	となっていない面がある。授業の
	めあてを明確にし、言語活動を充実させることが必要がある。			
主要事業名	学校力向上事業	į	担当課	学校教育課
	【真庭市学校教育センター研修事業の充実】			
	・教職員研修と学力向上及び生徒指導推進策を総合的に実施する。			
事業概要	・部会研修の充実・・・教科部会等における授業研究の推進			
	・「教育講演会」の開催・・・市内小中学校全教職員を対象に実施			
	期日:平成28年8月25日(木)講師:國學院大学教授 杉田 洋 氏			
1				

	【学級集団づくりの推進】			
	・Q - Uを活用した集団づくりの実践検証・・・真庭市立全小・中学校30校			
	【学力向上事業の推進・充実】			
	・「真庭市学力向上推進事業」・・・ 学力向上を目的とした小中連携・小小連携を中心にした中学			
	校区ごとの研究推進			
	・「道徳教育実践研究事業」・・・蒜山中学校における研究推進(2年目研究校)			
	・「長期宿泊体験活動推進事業」・・・月田・富原小学校における研究推進			
	・「指導教諭」による公開授業研究・・・小学校7名の指導教諭による授業公開により研究推進			
	【道徳教育の充実】			
	・学力向上の基盤となる道徳的実践意欲の向上を図り道徳の時間を充実させるための教職員研修 の開催			
	[◇]			
	・小学校3・4・5学年及び中学校2学年で学力調査を実施し、課題に基づく指導改善を行う			
	【登校支援員の配置】			
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	【外国語指導助手の活用】			
	・ALTの保幼小中への配置と活用(7名)			
	【外国語教育・外国語活動の推進】			
	・小学校教員対象英語力向上研修の実施・・・小学校 10 名の教員に 5 日間の集中研修			
	【放課後学習支援員の配置】			
	・県の委託事業を活用し、真庭市学力実態に見られる課題克服のため、放課後補充学習におけ			
	る人的支援を行い学力向上に資する。			
	・全教科部会に加え教科外部会においても、授業研究を実施した。授業公開を基本にした			
 具体的な	研修のスタイルが定着し、充実が図られた。			
取組状況	・「教育講演会」の開催(8月25日)			
4X#H1/\////	・全校における年2回のQ一U心理検査の実施が定着、活用されている。			
	・小学校教員へのALTによる英語活用研修が定着してきた。			
 評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた B			
р і іші	C やや不十分である D 不十分である			
	・部会研修においては、授業研究に外部講師を招聘するなど新しい風を入れる風土がある。			
	・教育講演会については、小中学校教職員のみでなく、幼稚園教員の参加あり、充実した研			
	修となった。			
成果と課題	・不成立部会は減った。教科外部会は、校務分掌との関係づけを強める必要がある。			
	・研究を深めるために、外部機関との連携も行った。			
	・データの活用により、「集団づくり」と「授業改善」を両輪とした学校づくりに資する研修へ一層			
	の研究の継続が必要である。			
主要事業名	学級編制弾力化「真庭プラン」 担当課 学校教育課 担当課 学校教育課			
事業概要	・市費常勤講師配置により、小学校3年生から中学校3年生を対象に35人学級編制を行う。			
具体的な	・小学校1校(勝山小1名)、中学校2校(北房中1名、蒜山中1名)に常勤講師を			
取組状況	配置し、学級編制の弾力化等を行った。			
評価	A 十分達成できた			
	C やや不十分である D 不十分である			

	・学級編制を弾力化し、一人一人によりそったより細かい指導が可能となり、落ち着いた学習
成果と課題	環境が維持されている。また、児童・生徒の様子を細かく観察でき、早期の課題対応がしやす
	くなっている。

②教育ネットワークや情報機器の有効な利活用

主要事業名	教育ネットワーク整備事業	担当課	学校教育課	
	·【ICT環境推進事業費(含総合戦略)】			
	・勝山・久世中学校区に無線LAN、教師用タブレ	ット端末を導	入し、年次的に全市に拡充する。	
	(蒜山·湯原導入済)			
	【「真庭子ども育みネットワーク@スクール」の構築】			
事業概要	・「真庭子ども育みネットワーク@スクール」構築により、	校務情報を	一元管理し有効活用することによ	
	り、学力の向上・子供たち一人ひとりへの教育の充実	とセキュリティ	ー向上・保護者サービスの推進を	
	図る。			
	【プロジェクター等活用授業改善支援】			
	・すべての普通教室にプロジェクター・実物投影機・スクリーンを整備し、授業改善を支援する。			
	・蒜山・湯原地区の小・中学校に続き、勝山・久世地区の小・中学校にも無線 LAN・タブレッ			
具体的な	ト・デジタル教材を導入し、授業での活用が始まった。			
取組状況	・実物投影機、プロジェクター、スクリーンを市内学校の全普通教室に整備し、学校訪問で活			
	用状況を確認した。			
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた _A			
рт пщ	C やや不十分である D 不十分である ,	`		
	・情報通信機器の更新にあたっては、付随するソフトウェアの見直しにより、事業費を抑えつつ、 必要な機器について更新を行った。 成果と課題 ・実物投影機等の機器を活用した授業での焦点化が日常的に行われている。 ・無線 LAN 環境とタブレット端末、デジタル教材の導入により、授業での ICT 活用と校務の情			
成果と課題				
	報化を一元的に進めており、指導と校務の平準化が見られてきた。			

2. 豊かな心の育成・健やかな体の育成

①将来に夢をえがく事業の推進

主要事業名	夢はぐくみ事業	担当課	学校教育課	
事業概要	・真庭市内中学校1年生を対象に、夢を実現させた著名人の講演会を開催する。			
具体的な 取組状況	・岡山シーガルズ所属、全日本代表経験のある神田千絵コーチを講師に招き、市内中学校 1年生を対象に夢に向かって努力する事の大切さを中心に講演会を行った。			
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた C やや不十分である D 不十分である	В		
成果と課題	・夢を育むという趣旨にそった講演であり、内容は概ね好評であった。 ・バス移動に、予算のほぼ半分を充てることとなり、費用対効果は低い。 ・講師派遣の会社を通さない形での依頼となるため、連絡調整の事務が繁雑である。			

3. 一人ひとりの個性・能力等に応じた教育

①教育支援センターを核とした教育相談体制の充実

主要事業名	教育相談推進事業	担当課	学校教育課
±₩₩	【真庭市教育支援センター「白梅塾」「城北塾」の充実】		
事業概要	・不登校児童生徒への学校復帰に向けた基礎的な力の育成を図る適応指導教室		

	・巡回相談の実施(市内3カ所・月1回)				
	・職員会議の開催・相談員の学校訪問				
	・入塾者学級担任との情報交換会・不登校親の会「ひまわり」の開催				
	・不登校児童生徒の在籍する学校を中心に学校訪問を行い、情報交換を行った。(2回)				
具体的な	また、直接の担任、担当者との情報連携も進んだ。(随時)				
取組状況	・不登校を考える親の会「ひまわり」を開催し、保護者	当・関係者	との連携強化を図った。(3		
4X小丘1八 <i>小</i> し	回)				
	・美作不登校支援ネットワークに参加し相談活動の	充実と教育	育支援センターの連携を図った。		
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた B				
6T 1W	C やや不十分である D 不十分である				
	・各学校での周知が進み、両支援センターの合計入塾者が 11 名となり。不登校児童生徒へ				
成果と課題	の支援が入りにくい状況が改善されている。				
以来と休庭	・自立支援の取組で、中学校 3 年生が高校進学に向けて前向きに取り組んだ。				
	・塾相互の連携を取り、スムーズな相談体制となるよう配慮した。				
-	スクールサポーター配置事業 担当課 学校教育課				
主要事業名	スクールサポーター配置事業	担当課	学校教育課		
主要事業名	スクールサポーター配置事業 ・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度		学校教育課		
		<u></u>			
主要事業名	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度	<u></u>			
	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城	の勤務 北塾」相談	員等との連携連絡会の開催		
事業概要	・市内全中学校区(6 校区)に配置 ・週3 日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会	の勤務 北塾」相談	員等との連携連絡会の開催		
事業概要	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会・各中学校区内小学校の巡回と学区内の生徒指導に	の勤務 北塾」相談 関する情報	員等との連携連絡会の開催の共有		
事業概要	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会・各中学校区内小学校の巡回と学区内の生徒指導に・市内全中学校区に配置した。	の勤務 北塾」相談 関する情報 『校教育相	員等との連携連絡会の開催の共有		
事業概要 具体的な 取組状況	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会・各中学校区内小学校の巡回と学区内の生徒指導に・市内全中学校区に配置した。・SC、SS、教育支援センター相談員、市内配置開催し、ネットワークづくり、情報共有を進めた。(1	の勤務 北塾」相談 関する情報 『校教育相	員等との連携連絡会の開催の共有		
事業概要	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会・各中学校区内小学校の巡回と学区内の生徒指導に・市内全中学校区に配置した。 ・SC、SS、教育支援センター相談員、市内配置開催し、ネットワークづくり、情報共有を進めた。(1	の勤務 北塾」相談 関する情報 『校教育相	員等との連携連絡会の開催の共有		
事業概要 具体的な 取組状況	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会・各中学校区内小学校の巡回と学区内の生徒指導に・市内全中学校区に配置した。・SC、SS、教育支援センター相談員、市内配置開催し、ネットワークづくり、情報共有を進めた。(1A 十分達成できた B 概ね達成できた B	の勤務 北塾」相談 関する情報 量校教育相 回)	員等との連携連絡会の開催 の共有 談担当者との合同研修会を		
事業概要 具体的な 取組状況 評 価	 ・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会・各中学校区内小学校の巡回と学区内の生徒指導に・市内全中学校区に配置した。 ・SC、SS、教育支援センター相談員、市内配置開催し、ネットワークづくり、情報共有を進めた。(1A+分達成できた B 概ね達成できた C やや不十分である D 不十分である 	の勤務 北塾」相談 関する情報 量校教育相 回)	員等との連携連絡会の開催 の共有 談担当者との合同研修会を		
事業概要 具体的な 取組状況	・市内全中学校区(6校区)に配置・週3日程度・スクールカウンセラー、スクールサポーター、「白梅塾・城・スクールカウンセラーとの合同連絡会・各中学校区内小学校の巡回と学区内の生徒指導に・市内全中学校区に配置した。・SC、SS、教育支援センター相談員、市内配置開催し、ネットワークづくり、情報共有を進めた。(1A 十分達成できた B 概ね達成できた C やや不十分である D 不十分である	の勤務 北塾」相談 関する情報 登校教育相 回)	員等との連携連絡会の開催 の共有 談担当者との合同研修会を いており、不登校支援のシステ		

②特別支援教育の推進と指導体制の充実

主要事業名	学校教育経常管理費	担当課	学校教育課
	【指導体制の充実】		
	・学習指導、教科指導、特別支援教育に係る市費非常	常勤講師の	配置(小学校 13 名,中学校
	25名)		
車光加冊	【特別支援教育の充実】		
事業概要	・特別支援教育に係る支援員の配置(小学校 10 名	,中学校 3	3名)
	・特別支援教育担当者研修会の開催		
	【習熟度別学習の充実】		
	・非常勤講師の有効活用・効果的な指導法の研究		
	·研修会を2回実施。(支援員対象 特別支援教育担当者対象)		首対象)
日仕かわ	支援員研修会…真庭市の現状と支援員の役割	及び各校	での取組について、講義及びグ
具体的な	ループ協議を行った。		
取組状況	特別支援担当者研修会…県立健康の森学園	支援学校よ	り講師を招聘(5名)し、講
	- 義及びグループ協議	を実施した	0

	・支援員としての役割について確認できた。障害者差別解消法に対する理解を深めるととも			
	に、学校現場での取組について情報交換したり、講師より助言を受けたりすることができた。			
	・特別支援教育に対する専門性の育成に取り組んだ。			
= ₩ /#	A 十分達成できた B 概ね達成できた B			
評価 	C やや不十分である D 不十分である			
	・特別支援を目的として、非常勤講師を配置することで、個に応じた指導を実践することができ			
	た。			
成果と課題	・支援員として役割を認識したり、各校での取組について情報交換を行ったりすることができた。			
	・特別支援教育担当として、障害者差別解消法について理解を深めたり、各校においての取			
	組について認識を深めたりすることができた。			

4. 安全・安心で効果的な学習環境の整備

①遠距離通学支援等による教育環境の整備

主要事業名	真庭市スクールバス等運行事業 担当課 学校教育課			
	・スクールバス等運行規則に基づく事業			
	小学校14校:中津井小学校、呰部小学校、水田小学校、落合小学校、木山小学校、美川			
事業概要	小学校、勝山小学校、富原小学校、美甘小学校、湯原小学校、二川小学校、中和小学校、八			
	東小学校、川上小学校			
	中学校5校:北房中学校、落合中学校、勝山中学校、湯原中学校、蒜山中学校			
具体的な	小学校14校の児童及び中学校5校の生徒を対象に26路線においてスクールバス、スクー			
取組状況	ルタクシー及びコミュニティバスを運行した。			
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた A			
a平 1四	C やや不十分である D 不十分である A			
	・スクールバス・タクシーを運行することにより、本事業の対象となる児童・生徒の教育の向上を			
	図ることができた。			
	・真庭市では南部と北部の気候差が大きく、遠距離通学者の定義を統一することが難しく、地			
成果と課題	域ごとに対応する必要性がある。			
以来と訴題	・コミュニティバスとの連携をより図り、くらし安全課と連携を密にし、市民及び児童・生徒が利用			
	しやすいものになり、市の財政面からも無駄のない運送事業になるよう努める必要がある。			
	・遠距離通学支援としてスクールバスを運行しているが、居住地や児童生徒の減少等、安全			
	面から、スクールバスの利用を希望する等の課題が出てきた。			
主要事業名	真庭市立小中学校遠距離通学費支給事業担当課学校教育課			
事業概要	・JR定期券購入費(勝山中学校)			
具体的な	勝山中学校の月田地区、富原地区の生徒を対象として、鉄道の定期券を一括購入し、現物支			
取組状況	給した。			
 評 価	A 十分達成できた B 概ね達成できた A			
рт іш	C やや不十分である D 不十分である ^ ^			
成果と課題	遠距離通学者の保護者の負担を軽減することができた。			
主要事業名	ヘルメット購入補助事業 担当課 学校教育課			
事業概要	・自転車通学等に対しヘルメット購入費の1/2補助(中学校1年生)			
具体的な	自転車通学をしている生徒に対し、ヘルメット購入費の1/2を助成した。			
取組状況				

評価	A 十分達成できた				
p 1 1pa	C やや不十分である D 不十分である				
成果と課題	自転車通学をしている生徒の安全確保に寄与できた。				
主要事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 担当課 学校教育課				
	・スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導				
事業概要	・登下校ボランティア組織の拡大、指導育成				
	・全学校での地域安全マップの取組				
日仕的も	・市内小中学校 30 校に対してスクールガード・リーダー4 名で学校及び登下校の安全管理・				
具体的な	安全確保の指導				
取組状況	・不審者対応訓練等教職員への指導				
	A 十分達成できた B 概ね達成できた _				
評価	C やや不十分である D 不十分である				
	・地域学校安全指導員を中心に、巡回指導を行い、児童生徒の安全に貢献した。				
成果と課題	・児童生徒の安全確保のため、危険予知・回避の能力育成が必要である。				
	・本事業が終了のため、今後は学校と地域の見守り組織等との連携により安全を図っていく。				
主要事業名	ボランティア団体や行政機関等とのネットワーク構築 担当課 学校教育課				
****	・行政間、関係機関との連携、ネットワークの構築				
事業概要	・不審者情報等の早期提供を図るため、メール配信システムの活用を市内全域に推進				
	・ももくん安心安全メールや各学校から報告のあった不審者情報について教育委員会から、全				
具体的な	学校にグループウェアシステムを利用して情報提供を行った。				
取組状況	 ・全学校から登録している保護者や学校関係者へ必要に応じてメール配信を行った。				
	A 十分達成できた B 概ね達成できた .				
評価	C やや不十分である D 不十分である				
	・メール配信システムを活用して、迅速に不審者情報や、登下校の情報を伝えることができてい				
成果と課題	る。				
	・学校によってメール配信システムの利用規程の徹底を図っている。				

②施設整備による教育環境の整備

主要事業名	学校施	設の整備	担当課 教育総務課		
		たちが安全・安心な空間で学ぶことができる を計画的に進め、教育環境の整備に取り約		整備(施設の老朽化対応を	
	区分	事 業 名		内容	
	小	北房統合小学校(仮称)新築工事	校舎棟・屋内	内運動場・プール・外構整備	
	学校	米来小学校屋内運動場床修繕工事	屋内運動場	 景床修繕	
	仪	川上小学校給油設備改修工事	給油設備改	文修	
事業概要		川東小学校校舎棟大規模改修実施設 計業務	校舎棟大規	見模改修実施設計	
尹未拠女		美川小学校プール改修実施設計業務	プール改修	実施設計	
	ь		グラウンド周]辺・駐車場・駐輪場・プール	
	中学	冷口中子权机以架工争	附属棟・渡	り廊下整備	
	校	勝山中学校屋内運動場改修工事	屋内運動場	天井改修	
	その	遷喬小学校給食施設(2期)改修工 事	調理場改修	፮・備品整備	
	の他	久世中学校太陽光発電設備設置工事	太陽光発電	設備設置	
		久世教員住宅多田団地解体工事	教員住宅解体		

具体的な	・事業実施にあたっては、危険度の高い施設から順次整備するとともに、毎年各学校からの要				
取組状況	望や各種点検での指摘事項を参考に着手してきた。また施設の老朽化に伴う突発的な修繕				
4X 7社 1人 ルし	工事や備品購入にも対応して、児童・生徒の安全・安心に考慮した。				
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた B				
a 十 1叫	C やや不十分である D 不十分である				
	・施設修繕や環境向上に関しては学校の要望等に従い、学校生活での危険度、授業への影				
	響度等を考慮の上で工事の優先度を的確に判断し、事業を実施した。				
	・毎年修繕工事及び備品購入を実施し施設設備の充実を図っているが、建築年数の経過や				
成果と課題	長年の使用により老朽化が激しく、修繕等の必要箇所は毎年増加している。				
	【平成28年度繰越事業】				
	落合小学校防球ネット設置工事				

③小・中学校の適正配置(学区の見直しと給食施設整備)

主要事業名	小・中学校の適正配置(学区の見直しと給食施 担当課 教育総務課				
	設整備)				
	少子化対応と教育効果を高めるため、学校施設の適正な機能・規模・配置の観点から学				
	校の統廃合や学区の見直しを進める。				
	北房地区では、小学校・こども園・放課後児童クラブを含めた新たな教育環境の構築に取				
事業概要	り組み、中津井・呰部・上水田・水田小学校の統合(平成30年4月開校)に向け施				
	設整備を行う。				
	学校給食については、給食調理施設の老朽化を解消し、より衛生的な調理環境を確保				
	するために、地域や保護者の理解を得ながら共同調理場方式への取り組みを強化する。				
	・平成28年4月1日に美甘中学校と勝山中学校との統合を実施した。				
	・北房地区の中津井・呰部・上水田・水田小学校の統合に向け、北房地域新教育環境				
	準備委員会を開催し、地域代表者、保護者代表者及び学校・園関係職員等と協議・				
具体的な	検討を行い準備を行った。また、北房小学校(仮称)校舎の建築工事に着手した。				
取組状況	・平成28年4月から久世学校給食共同調理場から米来小学校へ給食の配送を開始				
	した。				
	・平成28年9月から遷喬学校給食共同調理場から草加部小学校へ給食の配送を開				
	始した。				
評価	A 十分達成できた				
	C やや不十分である D 不十分である				
	・真庭市立小・中学校適正配置実施計画も第2段階を迎えている。極小規模校ではより				
	望ましい教育環境を早く整備する必要がある。今後は規模の問題だけではなく、望ましい教				
成果と課題	育環境を整えていく上で、いかに保護者・地域の理解を得ていくかということが重要となる。				
	・真庭市立小・中学校給食施設整備計画の第1段階が平成28年度で終了した。今				
	後、第2段階の整備に向けての検討が必要となる。				

社会全体で子どもたちの教育に取り組み、家庭や地域社会の教育力の向上を図る

1. 開かれた学校づくり

主要事業名	あいさつ運動の推進		担当課	学校教育課	
事業概要	・学校・子ども・保護者・地域・企業が一体となったあいさつ運動を展開し、市民全体で子どもを育て				
于未恢安	る教育文化の見える化を図る。				
具体的な	・各小中学校区の保護者や地域住民、企業へあいさつ運動の幟を配付し、設置。				
取組状況	・毎月 10 日のあいさつ運動に事務局職員参加]時(こ持参。		
評 価	A 十分達成できた B 概ね達成できた	В			
	C やや不十分である D 不十分である				
	・各学校が地域へ呼びかけを続けており、市内の	施訂	殳、企業、i	道路沿いに幟が立ち。あいさつ	
成果と課題	運動の気運が高まった。	ı) . / E288-t-1	
	・幟を立てるだけにとどまらず、実際に通学路途中				
	いない。今後は幅広く地域住民の方にも呼びかり	け、Ţ			
主要事業名	学校評議員制度、学校評価制度の充実		担当課	学校教育課	
	・「学校評議員会」、「学校関係者評価委員会」の	允夫	により子校	評価の美施及ひ公表を推進し、	
事業概要	学校力の向上と開かれた学校づくりを図る。	+			
	・学校自己評価書に基づく学校関係者評価の推進	<u>E</u>			
日体的わ	・学校評価報告書の作成	た宇	佐した		
具体的な 取組状況	・すべての幼稚園・小学校・中学校で学校評価 ・評価結果を、様々な方法で公開し、学校教育			った	
<u> </u>	A 十分達成できた B 概ね達成できた	1/10	が主件で四	الــــــ	
評 価	C やや不十分である D 不十分である	В			
	・学校評価の結果から見える課題について、学校	交訴	問等を诵し	 、て、支援のアドバイスを続け、よ	
成果と課題	りよく改善していかなくてはならない。				
主要事業名	子ども ICT ネットワークからの情報発信		担当課	学校教育課	
	・運用の徹底を図り、学校から市民へ向けた情報発	信	の充実を進め	 かる。	
事業概要	・ホームページ及びMITのデータ放送を利用した情報発信の充実				
	・給食センターからの食育情報の発信				
具体的な	・各学校から、日々の学習の様子や学校行事等	手の情	青報発信を	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
取組状況	・教育委員会からも、学力状況・不登校対策や全市的な取組みの情報を掲載した。]みの情報を掲載した。	
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた	D			
計 1四	C やや不十分である D 不十分である	や や や 不 十分である B B			
成果と課題	・真庭こどもICTネットワークの運用(H21~)) (より、情報	発信は進んでいるが、ホームペ	
从未 C床屋	ージへの情報公開の充実、定期的更新について	、杉	長会や教	頭会を通じて確認している。	
主要事業名	「まにわ教育の日」関連事業の充実		担当課	学校教育課	
事業概要	・各学校の取り組みのアピールポイントを展示用パネルにまとめ、主要箇所に掲示することで、教育活				
子术顺文	動について広く市民に知らせる。				
 具体的な	・各学校の取組をパネルにまとめ、30 校分を一覧	堂に	展示し、広	く市民に公表することで学校教	
取組状況	育への理解を図った。				
4人がユコハルし	・パネル展示の様子を学校情報紙やホームページで紹介し、広く市民への周知を図った。				

評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた B			
	C やや不十分である D 不十分である			
	・市内 30 校全てのパネルを、市内中心部の商業施設に展示することで、より多くの市民へ学			
成果と課題	校教育への理解を図ることができた。			
	・学校の説明責任を果たす上でも、学校の様子を市民に一層の周知を図るため、より効果的			
	な展示を検討する。			

2. 学校・園、家庭、地域社会が連携した教育の推進

主要事業名	学校支援地域本部事業	担当課 生涯学習課					
事業概要	・おかやま子ども応援事業の一環として、地域の教育力を学校で活用するもので、遷喬小学校と落						
	合小学校、呰部小学校、落合中学校で学校支援地域本部を中心に実施する。						
	・今後、他学区でも地域本部の立ち上げを推奨して	ていく。					
	学校と地域の調整役となる「地域コーディネーター	-」を配置し、学校からの要望を受け、要望に					
	適した住民による学校支援ボランティアを派遣し、	学校支援を行うもの。主な取り組みは以下					
	のとおり。						
 具体的な	・学習支援:音楽、家庭科、図工、書写(書道)、生活科						
取組状況	・部活動指導:卓球、囲碁						
4X が丘1人 <i>が</i> し	・環境整備:草刈、庭木剪定等の環境美化、図書整理						
	・校外学習の見守り						
	・本の読み聞かせ						
	・登下校時の見守り						
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた	В					
а т 1Щ	C やや不十分である D 不十分である	В					
	学校の教育活動の活性化が図られ、地域の方の学習支援、見守りなどにより学校環境の安						
成果と課題	心・安全に繋がっている。新たなコーディネーターの確保や未実施校の新規取り組みへの働きか						
	けが課題である。						

3. 家庭教育への支援

主要事業名	家庭教育支援事業 担当課 生涯学習課								
	・親育ち応援学習プログラムを活用し、社会教育指導員が学校・園および保護者の集まる場(参								
	観日等)を利用したワークショップを実施する。本年度は、家庭教育支援チーム体制を充実させ 2								
事業概要	人態勢で訪問活動できるよう目指す。								
	・子どもが親の職場を訪問して、親の働く様子を見学する「子ども参観日」を実施する。本年度は市								
	役所全体で取り組むと同時に市内事業所にも普及していく。								
	元教職員や読み聞かせボランティアなど、7名で構成する家庭教育支援チームを創設し、市								
	内の学校・園、サロン会において、社会教育指導員とともに派遣し、4園 22 校で親育ち応援								
具体的な	学習プログラムを実施した。								
取組状況	子ども参観日では、市役所北房振興局庁舎、市役所湯原振興局庁舎、市役所美甘振								
	興局庁舎、市役所本庁舎で8月19日に開催し、24名の参加があった。また、事業所への								
	説明を行い、3 事業所の参加があった。								
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた B								
声十 1川 	C やや不十分である D 不十分である								
成果と課題	親育ち応援学習プログラムについては、入学説明会などでほとんどの小中学校から依頼が来								
ル水と味恩	るようになっている。しかし、こども園・幼稚園・保育園からの依頼は少ないため、プログラムについ								

	ての理解を深めていく必要がある。							
	多くの依頼に対応するため、家庭教育支援チームの育成や新しい支援員の確保が必要で							
	ある。また、複数人体制で運営できるチームとして取り組むことが望ましいと考える。							
	子ども参観日は、参加者数が年々増加しており、市役所内での取り組みとして恒例行事と							
	なりつつある。事業所の実績は3事業所の取り組みがあった。今後も訪問説明を行い、企業と							
	して取り組むメリットなどを伝えながら普及啓発していく。							
主要事業名	放課後子ども教室推進事業 担当課 生涯学習課							
	・放課後や週末、長期休暇中に、小学校の余裕教室や公民館等を利用して、子どもたちの安全・							
事業概要	安心な活動拠点を設け、地域の人の協力をいただき、勉強やスポーツ・地域交流活動等を行う。ま							
尹未似女	た、放課後児童クラブとの連携及び一体的な活動を図る。現在、実施しているのは6地区(北							
	房・落合・久世・勝山・湯原・美甘)8教室。							
	市内の各教室ではそれぞれの学区の状況に応じた取組を実施している。週1回の放課後定							
	期開催の教室から、長期休業中の集中開催、土・日・祝祭日を利用した開催などにより、北							
具体的な	房、落合、久世、勝山、湯原、美甘の6振興局管内で体験学習等工夫を凝らした事業を							
取組状況	展開している。8 教室の合計では、教育活動推進員として 34 人、教育活動サポーターとして							
	42 人登録しており、小学校低学年の児童約 160 人を対象に、年間延べ 121 回の教室を							
	開催した。							
評 価	A 十分達成できた B 概ね達成できた B							
<u>ат</u> 1Щ	C やや不十分である D 不十分である							
	市内の各教室で運営形態や開催日時は異なるが、どの教室についてもその必要性が認知さ							
	れ、学区内や保護者の間で定着してきた。地域の指導者が中心となり、昔遊びや手芸、工作							
成果と課題	等体験を中心にそれぞれ工夫を凝らした事業を展開しており、孤立しがちな子育て世代と地							
以本に休思	域の人々との交流の場となっている。今後の課題として、共通点の多い「放課後児童クラブ」の							
	運営組織等との情報交換や相互交流を進め、人材の発掘や育成、教材の開発など連携及							
	び一体的活動に繋げていく。							

4. 家庭・地域における人権教育の推進

主要事業名	人権教育推進事業	担当課	生涯学習課					
	・「真庭市人権教育・啓発推進指針」に基づき、真庭市人権教育推進委員会と協力しな							
事業概要	がら人権教育研修会の開催、ポスター、作文、標語の作品集の発行を行う。							
	・また、地域や PTA などの集会での研修活動を持	推進する。						
	・年次計画に沿って人権講演会を市内1カ所(11月27日(日)に久世エスパスセンタータ							
具体的な	ー)でくらし安全課と協力して開催したほか、推進	委員の研修	、PTAの研修会も実施した。					
取組状況	・パンフレットの全戸配布、人権作文・人権ポスターの募集と入選作品集の発行を通じて、							
	市民に人権意識の高揚を訴えることができた。							
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた F	2						
<u>ат 1ш</u>	C やや不十分である D 不十分である 「	,						
	市民研修について、「人権を考える市民の集い」(映画会)を企画、市内2か所(北							
	部:蒜山振興局、中部:落合総合センター)で開催し、199名の参加であった。今後							
成果と課題	も、くらし安全課との連携を図りながらより多くの市民及び職員の参加促進を検討する必要が							
	ある。また、各部局が抱えている人権問題に対して連携し、真庭市の状況を把握し重点項目							
	等踏まえた上で人権意識の高揚を図る必要がある。							

5. 郷土に学ぶ郷育の推進と人材育成

主要事業名	ふるさとを学び知る人づくり事業	担当課	生涯学習課				
	・こどもたちが、地域の人々との交流の中で社会性を身に着け生きる力を育む。						
事業概要	・真庭の文化、自然などに関する地域資源を、ボランティアの力で調査しテーマごとに分かり						
	やすい冊子としてまとめ、「まにわブックス」として刊行できるよう取り組む。						
具体的な	・ボランティア 11 名が集まり「まにわブックス編集委員会」が 7 月に設立。会議を計 5 回開催し、掲						
取組状況	載する地域資源や冊子の構成・体裁、進め方等を協議した。						
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた	D					
評価 	C やや不十分である D 不十分である	В					
	5か年事業の初年度であり、まず冊子の構成や体裁、作成方法や進め方等、各ボランティ						
成果と課題	アが提案と協議を重ね、方向性を決定することができた。次年度はその方向性に沿って、各自						
	で取材・執筆に取り掛かり、まずは電子版ブックレット作成と市ウェブサイトへの掲載を目指す。						

生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興を図る

1. 生涯学習意識の醸成と環境づくり

主要事業名	生涯学習推進事業 担当課 生涯学習課								
	・各地域の特性を活かした生涯学習活動を展開する。)							
事業概要	・学びの成果を還元できる環境を整備し、生涯学習によるまちづくりを推進する。								
	・具体的には生涯学習講演会や公民館活動を通じ、地域課題の解決につながる講座の開催及び								
	若者グループの育成を図る。								
	市内の公民館・文化センター・コミュニティセンターを中心に、生涯学習活動の場を								
	る。公民館等が主催する教室・講座のほか、施設利用グループ等が運営する講座など市内の								
	施設全体で 300 近い教室がある。内容は伝統文	化の継承や	創作文化、自然観察やボラン						
具体的な	ティア技術の習得など多岐にわたる学習メニューを提	供している	。各館相互の交流も盛んで、						
取組状況	他施設の指導者を招いて開催する「出前講座」もめ	子評である。	また、こうした学習情報は、年						
	度当初「生涯学習情報紙」一覧表に掲載したのを	はじめ、振り	興局ごとに発行する情報紙によ						
	り市民へ情報を提供した。このほか、市の広報紙、新	新聞等のマ	スメディアを通じた広報活動も						
	頻繁に行った。								
評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた C								
рт пд	C やや不十分である D 不十分である								
	出前講座による新たな学習課題との出会いや、「	青報紙をも	とに様々な施設の各種教室に						
	市民が参加できるようになり、市民の交流も進んでい	いる。しかし、	講座や教室の開催に地域的						
	な偏りが生じている。また、各教室や講座の運営には講師や指導者の確保が欠かせないが、								
成果と課題	適任者を確保することが難しくなっており、より魅力ある講座・教室の開催が課題となっている。								
	また、生涯学習社会の成熟とともに、学習者の社会への還元が求められている。学んだ成果を								
	地域のイベントや学校・園の行事などで伝える地域》	舌動ができる	る体制づくりの検討が必要となっ						
	ている。								
主要事業名	市民主体の図書館づくり事業	担当課	生涯学習課						
	・図書館の活動を広く知ってもらい、図書館に足を運ん	しでもらうたと	かに 凶書館だより」を刊行し全尸						
	配布する。	 	t-t/-//						
	・幼少期からの読書習慣の定着を図るため、未就学児のいる保護者に絵本の読み聞かせの講座を								
事業概要	開催する。また、小中学校に授業の一環で、図書館司書が図書館利用教育や調べもの学習の指 								
	導を行う。								
	・市民主体の図書館実現のため、市民の司書資格取得の支援と、その母体となる組織「まにわ本								
	クラブ」の育成を行う。								
	・読書活動の機運の醸成のため、「まち並み図書館」の拡充を図る。								
	・平成 28年度の利用者数 51,652 人、貸出冊数 223,018 冊、リファレンス 1,262 件とい ずれも昨年より増加している。								
	911000043030								
	・図書館便りは発行回数に差があるものの今年度より全図書館で発行した。								
具体的な	・読み聞かせは全図書館で実施し、多くの参加があった。								
取組状況	・司書資格取得支援事業については、数名の資格取得希望者があったが、資格取得者はい								
	で可言具情報待又接事業については、数石の具情報待布室石がの力にが、具情報待省はいなかった。								
	^^^ ^ ^ ^ ^								
	名の新規加入があった。								
Ĭ.	白の利力が入りで								

評価	A 十分達成できた B 概ね達成できた A A						
	市内全図書館での職員配置とあわせてボランティアの活用が積極的に行われ、読書会や読						
	み聞かせ会など、図書館主催のイベントが増え、その利用者も増加している。						
	各館を単位として活動しているボランティアに地域的な偏りがあり、広域的な活用が課題で						
成果と課題	ある。今後は、ボランティア団体の活動を活性化させるため、図書館ボランティアやまにわ本クラ						
	ブの相互連携を行うことができる体制を構築する必要がある。また、中央図書館のハード面の						
	整備とともに、広く市民の間で読書の面白さを共有し、市民が主役となる図書館づくりを目指						
	していく。						
主要事業名	高齢者講座等運営事業 担当課 生涯学習課						
エヌテネロ	・高齢者を対象に定期的で継続的な講座を開設し、自主的運営を進めることで、自立した高齢者						
事業概要							
	講座を目指す。						
	公民館や市民センターを会場に、老人大学、高齢者学級等を開催している。本年度も各振						
 具体的な	興局単位で、2時間程度の講義と自主運営のクラブ活動を組み合わせて開催した。年間数						
, ,,,	回から多いところで 10 回程度開催している。運営については自主的な取り組みを推進してお						
取組状況	り、受け付け事務や講演会の進行、クラブ活動の運営などは運営組織の役員を中心に対応し						
	ている。						
	A 十分達成できた B 概ね達成できた						
評価	C やや不十分である D 不十分である						
	高齢者が自主的に公民館等に寄り合い、様々な分野の講話を聞くことで生きがい対策とし						
成果と課題							
	て一定の成果をあげている。学習内容はほとんどが座学に偏っており、地域行事や学校行事な						
	どへの参加といった社会参加活動にはいたっていない。また、参加者が減少傾向にあるため、内						
	容等検討していき、参加者の増加を図ることが必要である。						

2. 文化財の保存・活用

- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3. 山丰大学修理事类法协会	+□ 117 ≡⊞	生活党羽 钿				
主要事業名	勇山寺本堂修理事業補助金	担当課	生涯学習課				
 事業概要	・市指定重要文化財であり、国の重要文化財である薬師如来挫像が安置されている本堂の雨						
尹未佩女	漏り修繕のための事業に対する補助金を交付する。						
具体的な	・市指定文化財「勇山寺本堂」所有者が H28 st	₹6月~H2	29 年 3 月にかけて実施した修				
取組状況	繕工事に対し、補助金を交付した(交付額 9,9	90 千円、総	:事業費の1/2)。				
=== /==	A 十分達成できた B 概ね達成できた						
評 価 	 C やや不十分である D 不十分である A	l					
	屋根解体時には予想以上に部材の腐食が進んでおり、葺替え修繕を実施できたことは、市						
成果と課題	指定文化財の保護のため大きな効果である。また堂内に安置される国指定文化財について						
	も、損傷のリスクが減り、継続的な保護に繋がるものとなった。						
主要事業名	古文書整理事業	担当課	生涯学習課				
車架棚面	・岡山大学図書館に所蔵されている勝山藩文書など真庭市関連史資料のデジタル撮影を前年						
事業概要	同様に実施し、インターネットで発信している情報を充実させる。						
	真庭市関連の古文書・絵図資料を継続してデジタル化している。平成 28 年度は、昨年度						
具体的な	に引き続き三浦家文書(旧勝山藩主:岡山大学附属図書館及び真庭市所蔵)を撮影・						
取組状況	データ化している。さらに今年度は、撮影データを基に解読した活字史料集を刊行できた。な						
	お、画像データの一部は、岡山大学附属図書館を	トームページ で	で公開している。				
=0 /≖	A 十分達成できた B 概ね達成できた	,					
評 価	C やや不十分である D 不十分である	5					

成果と課題

史料を撮影、活字化することで、今後の史料の解読・刊行作業が容易となるとともに、真庭市の歴史・文化を知るための素材をまたひとつ増やすことができた。その一部については、岡山大学附属図書館が画像データとして一部公開している。並行して文書の活字化も進めていることから、今年度に続き今後も漸次刊行していく予定である。史料には、現在につながる地域の生活文化を復元する手がかりが残されており、それらを読み取ることで、今後のさまざまな場面での活用を進めていく。

4. 学識経験者による意見

真庭地域自立支援協議会 会長 宮川幸男

国は来年度予算編成に当たり、成人学習を含む人材育成投資の特別枠が検討されていると聞いております。

人材は一朝にして育つものではなく、子どもに対する保育、教育は勿論のこと、家庭での生活習慣のありようや、地域の育成環境が大切な要件になると考えます。

真庭市教育委員会におかれましても、平成 28 年度教育基本方針及び教育行政重点施策に基づき、計画継続的に実施された「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」については、総じて概ね妥当なものであると認められます。

なお、その上でいくつかの私見を次のとおり付言し、今後ともより高い目標に向かって精進されますよう期待します。

(1)確かな学力の向上

「全国学力・学習状況調査」への対応、或は課題解決への取り組み、さらにはその成果と次への展開のあり方等については、努力の跡が十分うかがえ評価できるところであります。

一方で岡山県教育委員会の学習状況調査では、子どもの主体的な学習と望ましい生活習慣が 学力向上にとって重要な課題であるとの分析があります。

主体的な学習態度を培うためには、子ども個々の特質に応じた教え方を始めとして、学校と家庭の協調が欠かせないと思います。一層の工夫とご努力を期待したいと思います。

(2) 豊かな心の育成と健やかな体の育成

夢に向かって努力することの大切さを伝え、理解させるための講演会の実施は当を得た有効な取り組みであると思いますが、課題として費用対効果の点を挙げられていますが、教育現場での何が期待した効果なのか、この報告では読み取れません。また、費用対効果という表現がこの際適当なのか少し違和感を感じます。

今後こうした講演会を企画する場合、地域の人材、地域ゆかりの人材の活用も検討の材料ではないかと思いますので、参考意見の一つとしてご理解を願います。

(3)特別支援教育の推進と指導体制の充実

発達障害の子どもを含む対象は、それぞれ異なる個性を持っており、ほぼ個別の教育の指導が求められると思います。また、教育担当者にもかなりの専門性が要求されると思いますし、家庭環境も成長に大きくかかってくると思いますので、必要に応じて教育委員会の枠組みを超えた仕組みが検討材料かと考えます。

(4) 開かれた学校づくり

少子化社会の中で、子どもと地域の日常的な接点はだんだん希薄になっているのが実感です。あい さつ運動や評議委員制度、教育の日等幅広い取り組みを実施されていますが、実効はどうなのか更 なる充実を期待します。

(5) 放課後子ども教育の推進事業

家庭の外で働いている保護者は男女総社会参加の進展とともに、ますます増加していると考えます。

こうした中での放課後子ども教育等の持つ意義はことさら大きいものがあると思います。地域参画でより内容の濃い教育現場となるよう期待します。また、恵まれない家庭環境の子どもを含めて年齢を超えた子ども同士、場合によっては保護者をも交えた交流と食育の推進の場として全国200ヶ所を超えて設置されている「子ども食堂」的な施設は不登校、少年非行対策としても研究検討の材料ではないかと思いますので、関係者に広く意見を集約されるよう期待します。

「平成28年度真庭市教育委員会点検・評価報告書」等を検討し、真庭市教育委員会の「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」について、意見を以下に示します。

■確かな学力の向上

「全国学力・学習状況調査」の結果から、学校現場では課題に基づく改善プランを作成し、さまざまな取組を行い、教員の授業力向上にも取り組んでいくとありました。

学力を向上させるためには、こうした学校の充実した授業への取組と合わせて、家庭学習の習慣を確立させる『家庭の役割』が重要と思います。

全国で学力上位の県では、通塾率が高かったり勉強時間が長かったりするのではなく、ポイントは家庭にあり、早寝早起きと朝食をしっかり食べることとありました。このような規則正しい生活習慣が子どもたちの学習意欲の向上につながり、結果、学校の授業と宿題を基本として、家庭学習の習慣が身に付いていくということでした。学習習慣づけは子どもの主体性に基づくことが基本であり、子どもとの対話への留意が不可欠です。放課後の子どもの学習支援、ゲストティーチャーも視野に入れ、学校と地域の「共育」を進めていただきたいと思います。

学力向上に向けては、是非、全国上位を目指してほしいと思いますが、単に結果にとらわれるのではなく、教員や子どもたちがそれぞれに努力した過程が報われる教育であってほしいと切に思います。

■一人ひとりの個性・能力等に応じた教育

不登校の要因が家族要因とも重なってきており、関係機関とのさらなる連携、総合的対応が求められている現状があります。子どもについて話し合う共通の場の充実など、スクールサポーター、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーが共育しやすい環境づくりも大切と思います。今後は学校全体で一体となった総合的な取組をお願いします。

いじめ・不登校については、PTA 懇談会でも話題になり、子どもたちの間でも考えたり話し合ったりする機会が多くなっています。席替えを話し合いで決める、運動会や文化祭、学習発表会においては子どもたちが主体となってチームづくりや作品を作り上げるように教員が取り組んでいることなど、いじめや不登校をなくしたいという子ども、親、学校の取組がいろいろな形で表れています。

しかし、残念ながら問題件数の大きな減少にはならず、さらに、件数として表に出て来ない、いじめや不登校につながるトラブルも多いのではないかと心配しています。

最近は子どもにまで普及しているスマホのメールやラインのモラルの問題が、いじめや不登校の原因となっており、今以上にいろいろな取組を考えていく必要があると思います。

■特別支援教育の推進と指導体制の充実

増加傾向にある特別支援を必要とする児童生徒に対し適切な支援を行うため、「園幼小三者協議会」の研修会や情報交換などを行う取組は評価できます。

特に三者協議会が連携し、子どもの情報を共有することで、小学校の入学当初から教育支援を行うことができるシステムづくりは、子どもにとっても保護者にとっても大きなメリットを生むものと思います。

支援が必要な子どもを持つ保護者の皆さんは、常に子どもの将来に不安を抱えていると思いますので、就学後においても相談などの支援が継続的に行われるよう、特別支援教育の一層の充実をお願いします。

■開かれた学校づくり

「学校公開」の推進では、開かれた学校という取組がさらに進んでいます。今後は、教職員の学校開放意識を膨らませ、公開日時の拡大を進めていくことをお願いします。家庭・地域へのさらなる理解を進め、学校への参画方法の工夫が必要と思われます。

■学校・園、家庭、地域社会が連携した教育の推進

PTA との連携、地域ぐるみの活動が進められていることは素晴らしいことです。保護者に対して学校の目的・内容を明確に提示し、家庭での教育の共通理解を図ることは今後も重要であり、家庭の教育力向上への継続した取組は進めてほしいと思います。

5. まとめ

平成 28 年度の事業については、A 評価の事業が 8、B 評価の事業が 21、C 評価の事業が 1、D 評価の事業が 0 となっております。

「確かな学力の向上」においては、全国及び岡山県の学力・学習状況調査の結果から、中学校では依然として厳しい状況であり、特に数学で改善に遅れが見られます。小学校では基礎に関する問題において全国や岡山県を上回る状況となり、取組の継続が成果に結びついています。今後も、調査結果を活用した授業改善プランの具体化、課題への早急な対応、学力向上に向けた授業改善、学習習慣の向上などに継続して取り組みます。

教育ネットワーク整備事業では、校務支援システムを活用した校務の情報化において、バージョンアップやカスタマイズを行い、また、無線 LAN やタブレット端末の計画的導入を進めています。学校教育の中に情報機器活用を位置づけることで、教育の質向上や子どもと向き合う時間の確保に効果が生まれつつあります。継続してICTの有効活用を推進していきます。

「一人ひとりの個性・能力等に応じた教育」では、学校・家庭・教育支援センターの連携により進路に前向きに取り組む等、効果が出ています。個別に応じた支援がより一層適切に行えるよう今後もさらに関係機関と連携を進めていきます。

「安全・安心で効果的な学習環境の整備」では、スクールバス等の運行等は計画どおり実施できました。

今後も、地域による見守り活動の充実や子どもの安全を守るネットワークの構築を進め、安全・安心な学習環境の整備を実施していきます。

小・中学校の適正配置については、第2段階を迎えており、極小規模校が対象となっています。 保護者・地域の理解を得ながら、実施計画の見直しも含めて適正配置を推進していきます。 給食施設整備については、整備計画の見直しも含めて共同調理場化を推進していきます。

このほか、「開かれた学校づくり」、「学校・園、家庭、地域社会が連携した教育の推進」、「家庭教育への支援」、「家庭・地域における人権教育の推進」、「郷土に学ぶ郷育の推進と人材育成」、「生涯学習意識の醸成と環境づくり」、「文化財の保存・活用」等おおむね成果がありました。

今後、より一層地域の人材確保や地域・家庭と連携した取り組みが必要です。

この評価結果を基に創意工夫し、効率的・効果的に事業を遂行できるよう学校・園や家庭、地域と相互の連携を図っていきます。

教育委員会及び事務局各担当課においては、決算及び予算の参考資料として、今後の事務事業の改善や教育行政施策の推進のために、十分に活用していきます。

平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果一覧表

重点施策の体系				教育委員会評価					
		No.	主要事業名	所管課	А	В	С	D	資料頁
					十分達成できた	概ね達成できた	やや不十分である	不十分である	
		1	全国学力・学習状況調査	学校教育課		0			5
		2	岡山県学力·学習状況調査	学校教育課		0			5
	1. 確かな学力の向上	3	学校力向上事業	学校教育課		0			5
		4	学級編制弾力化「真庭プラン」	学校教育課	0				6
		5	教育ネットワーク整備事業	学校教育課	0				7
	2. 豊かな心の育成・健やかな体の育成	6	夢はぐくみ事業	学校教育課		0			7
		7	教育相談推進事業	学校教育課		0			7
確かな学力、豊かな心、 健やかな体など、子ども たちが生きていくうえで基	3. 一人ひとりの個性・ 能力等に応じた教育	8	スクールサポーター配置事業	学校教育課		0			8
本となる資質能力を育む		9	学校教育経常管理費	学校教育課		0			8
		10	真庭市スクールバス等運行事業	学校教育課	0				9
		11	真庭市立小中学校遠距離通学費支 給事業	学校教育課	0				9
		12	ヘルメット購入補助事業	学校教育課	0				9
	4. 安全·安心で効果 的な学習環境の整備	13	地域ぐるみの学校安全体制整備推進 事業	学校教育課		0			10
		14	ボランティア団体や行政機関等とのネッ トワーク構築	学校教育課	0				10
		15	学校施設の整備	教育総務課		0			10
		16	小・中学校の適正配置(学区の見直 しと給食施設整備)	教育総務課		0			11
	1.開かれた学校づくり	17	あいさつ運動の推進	学校教育課		0			12
		18	学校評議員制度、学校評価制度の充 実	学校教育課		0			12
		19	子ども I C T ネットワークからの情報発信	学校教育課		0			12
14.0.0 H 7.7 Et t. + 0.0		20	「まにわ教育の日」関連事業の充実	学校教育課		0			12
社会全体で子どもたちの 教育に取り組み、家庭 や地域社会の教育力の 向上を図る	2. 学校・園、家庭、 地域社会が連携した教育の推進	21	学校支援地域本部事業	生涯学習課		0			13
	3. 家庭教育への支援	22	家庭教育支援事業	生涯学習課		0			13
		23	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課		0			14
	4. 家庭・地域における 人権教育の推進	24	人権教育推進事業	生涯学習課		0			14
	5. 郷土に学ぶ郷育の 推進と人材育成	25	ふるさとを学び知る人づくり事業	生涯学習課		0			15
		26	生涯学習推進事業	生涯学習課			0		16
生涯にわたって学べる環	1. 生涯学習意識の 醸成と環境づくり	27	市民主体の図書館づくり事業	生涯学習課	0				16
年涯にかだって子へる環境づくりとスポーツ・文化 の振興を図る		28	高齢者講座等運営事業	生涯学習課		0			17
	2. 文化財の保存・活 用	29	勇山寺本堂修理事業補助金	生涯学習課	0				17
		30	古文書整理事業	生涯学習課		0			17
				計	8	21	1	0	